

川崎競馬倶楽部

15th ANNIVERSARY

<http://www.kawasakikeiba.com>

since1990

〒212-0002 川崎市幸区小向仲野町15-4 川崎競馬倶楽部

2006年2月号

NARグランプリ表彰 2月7日

ベストフェアプレイ賞



今野忠成騎手



優秀新人騎手賞



町田直希騎手

日本プロスポーツ大賞 新人賞

1月24日



町田直希騎手

キヨフジとは・・・

エンプレス杯は平成3年に改称されるまでキヨフジ記念と呼ばれていた。「キヨフジ」とは地方から中央に移籍馬として初めてクラシック(昭26年オークス)を制した名牝である。平成9からは指定交流競走として、また平成10年からは距離2100とかたちを変えて現在に至っている。



キヨフジの鞍上には日本最高齢調教師として現役の八木正雄調教師。2月23日に迎える誕生祭は23歳の誕生日になる。

2005 表彰特集 Part 1

川崎競馬優秀厩舎関係者表彰

1月27日



最優秀調教師賞

内田勝義調教師

優秀調教師賞

池田孝調教師

最優秀騎手賞 最優秀新人賞 生涯通算勝利度数優秀騎手賞



今野忠成騎手

町田直希騎手

酒井忍騎手
金子正彦騎手



厩務員功労賞



甲斐 勝也 厩務員

獣医師功労賞



倉川 佳之 獣医師

装蹄師功労賞



原 久夫 装蹄師

特別表彰



秦野国際乗馬クラブ

川崎競馬優秀競走馬表彰 1月27日

最優秀競走馬賞



テンセイフジ号

優秀競走馬賞



ミライ号

佐々木竹見が選ぶ2005川崎ベストジョッキー表彰

1月23日



ベストジョッキー賞
敢闘賞
殊勲賞
ホープ賞
新人賞

今野忠成 騎手
酒井忍 騎手
金子正彦 騎手
山崎誠士 騎手
町田直希 騎手

第4回佐々木竹見カップジョッキーズグランプリ

~ 1月24日 ~

酒井忍騎手が総合優勝



騎手名	所属	7R	9R	計
1 酒井忍	川崎	38	50	88
2 内田博幸	大井	50	13	63
3 的場文男	大井	27	33	60
4 岩田康誠	兵庫	3	38	41
5 中館英二	JRA	13	27	40
6 中越豊光	高知	33	6	39
7 東川公則	松和	22	10	32
8 繁田健一	浦和	8	22	30
9 石崎隆之	船橋	16	5	21
10 安部幸夫	愛知	4	16	20
11 武豊	JRA	10	4	14
12 小林俊彦	手賀	5	8	13
13 鮫島克也	佐賀	6	3	9
14 今野忠成	川崎	2	2	4

リーディングの顔



最後まで熾烈な勝ち星争いを繰り広げた末、見事2005年リーディングトレーナーに輝いたのは内田勝義調教師。2002、2003、2004と3年連続して川崎所属第2位という成績に甘んじてきたがついに悲願のトップの座。「たまたま馬との巡り合わせに恵まれたという感じですよ」と謙遜するが、「調教面、飼料面などいろいろ工夫してきたつもりです。目標を50と掲げてそれをクリアできたことは嬉しい限り。今年も同じ数字を目標に精進していきます」と今年も狙う。

川崎単独でのリーディングジョッキーは今野忠成騎手だが、南関東全体を見れば111勝で第6位と川崎所属騎手としてトップの成績を挙げたのは酒井忍騎手。「下からも有望な騎手が育っていますし、川崎の代表として南関東のリーディング争いができるような成績を挙げていきたいですね。それが自身の目標でもあります」。



遠征の記録

1月29日東京競馬第6競走(3歳500万 1400m)に出走したディバインウインド(山崎厩舎)はボンと先手をとったものの直線失速。結果16着だった。「スタートが良かったこともあって楽にハナ行くことができたが直線ではもう手応えがなくて。直線が長く感じましたね」と騎乗した今野騎手。

2月4日東京9R春菜賞(3歳500万 芝1400m)にはチェリームーン(佐々木仁厩舎)が参戦。道中は後方から3番目追走。最終コーナーで大外に持ち出し直線伸びたが届かず5着だった。

おつかれさま 平成18年1月退厩馬

佐々仁	アウトロー	牡	5	海外	転厩
佐々仁	ブラックラベル	牡	4	海外	転厩
佐々仁	マルダイケイレー	牝	4	休養中	繁殖
山崎	ゲシルミニヨン	牝	3	休養中	乗馬
大和明	タイセンスウィフト	牡	10	福島県	乗馬
池田孝	シベリアンベアー	牡	5	岩手県	乗馬
池田孝	ハートワン	牝	8	北海道	繁殖
山崎	ネヴァーストリート	牝	5	茨城県	転厩
河津	エイシンラブソング	牝	4	北海道	繁殖
原	ベストオブチャンス	牝	5	北海道	繁殖
久保秀	イシノチャンス	牡	6	群馬県	乗馬
内田勝	リンカーンスター	牡	6	東京都	転厩
武井	ミナモトキング	牡	4	群馬県	乗馬
久保秀	フェンスレスガール	牝	5	神奈川	廃用
八木仁	トウカイボラリス	牡	4	東京都	乗馬
田村豫	トウカイアモール	牝	6	神奈川	廃用
津久井	テンポウツヨシ	牡	5	福島県	乗馬
福島	グッドルッカー	牝	4	栃木県	乗馬
武井	ミナモトサプライズ	牡	5	群馬県	乗馬
佐々仁	アウセワザ	牡	8	愛知県	転厩
足立	ライデンリリー	牝	4	茨城県	乗馬
伊藤利	ヤマニンパレット	牡	5	茨城県	乗馬
田邊	レオマサムネ	牡	4	福島県	乗馬
津久井	ラブマロン	牡	3	青森県	転厩
八木喜	ランフォー	牝	4	栃木県	乗馬
佐々仁	キングスルーラー	牡	9	栃木県	乗馬
長谷蓮	スイフトキング	牡	4	福島県	乗馬
梅山	カリブダンスダンス	牡	8	福島県	乗馬
安池成	ガッサンダブリン	牡	5	栃木県	乗馬
三橋	アリオングンディー	牡	6	神奈川	乗馬
八木仁	ヴィーナスポート	牝	3	栃木県	乗馬
鈴木敏	トウヴァピアン	牝	5	茨城県	乗馬
今井輝	ダーラン	セ	5	高知県	転厩
田村豫	サンデーマイレディ	牝	6	東京都	転厩
山崎	ウインプリンセス	牝	3	兵庫県	転厩
佐々仁	マルダイメグ	牝	6	北海道	繁殖

イシノファミリー、マルダイメグ引退

若潮盃、東京湾カップ、報知グランプリなど重賞3勝イシノファミリーが乗馬に転向することが決まった。また、ローレル賞、ロジータ記念優勝馬マルダイメグは故郷澤田牧場での繁殖入りが決まり引退した。



HAPPY BIRTHDAY 2月生まれ

- | | | |
|---------------|--------------|----------------|
| 佐々木吉郷調教師(1日) | 林隆之厩務員(1日) | 栗栖英司厩務員(2日) |
| 山崎尋美調教師(3日) | 竹崎雄宇厩務員(3日) | 杉村雅央厩務員(4日) |
| 池田節夫厩務員(5日) | 関本慎吾厩務員(5日) | 川口亘厩務員(6日) |
| 上玉利満弘厩務員(9日) | 深野豊厩務員(10日) | 高月賢一調教師(13日) |
| 佐藤茂秋厩務員(14日) | 三井信行厩務員(14日) | 鈴木敏一調教師(15日) |
| 白木和也厩務員(15日) | 江戸健厩務員(19日) | 村田順一厩務員(19日) |
| 川村大次郎厩務員(20日) | 池田孝調教師(21日) | 並木徳則厩務員(21日) |
| 内田勝義調教師(23日) | 佐藤健二調教師(23日) | 八木正雄調教師(23日) |
| 内田武彦騎手(23日) | 暮部清志厩務員(25日) | 佐々木正三郎厩務員(25日) |
| 佐藤敏明厩務員(27日) | 米田隆之厩務員(27日) | |

山崎 尋美 調教師



昨年、川崎所属の調教師によるリーディング争いは例年以上に高レベルで激しいものだった。その中で40勝を挙げ、上位争いを演じたのが山崎尋美厩舎である。

最近川崎の厩舎は全般的に見て勝利数が増えてきている。きっとここ数年運動量を増やしたり、飼料面でも工夫を凝らしたりという地道な努力が実を結んでいるのだろう。

この山崎厩舎も従来のやり方に捉われずに考え実践している、まさに新しい時代の先駆けともいえる存在の一人である。

まず厩舎全体がとても綺麗である。美しく整えられた外観はもちろんだが、ごみ一つ落ちていない。競馬場でも「馬をよく見てもらえる場所はパドックだから」とちゃんとファンの目を意識して馬を仕上げている。ちなみに馬具はそれぞれ思い思いの色のものを使うわけではなく厩舎で統一しているとの事。

今年の目標を尋ねると「55は勝ちたいね。あと毎年1個は重賞を勝ちたい。去年まで3年続いているから切らないようにしたい。」と答えてくれた。ちなみに昨年のアフター5スター賞を勝ったロッキーアピールは先月帰厩し、次走は東京シティ盃を予定しているそうだ。

騎手から調教師と立場は変わったが「土台作りに10年はかかると思っていた。今は8年目くらいだけどもまあまあかな。」そして「若馬で活躍するのが夢」だそう。

賞金面などでなかなか地方に素質の高い若馬が集まりにくい現実もあるが、「新馬から期待できる馬を仕入れてくるのも調教師の腕だと思っている。」と意欲的に答えてくれた。

「自分が勝てると思った馬で負けるとストレスがたまるね。もちろんその逆もあるけれど。」

仕事に關してはとても厳しい人。もちろん息子である誠士騎手に対してもそれは同じ。仕事中は親子というより師弟という関係なのであろう。

しかし仕事を離れば4人の子供のよき父親でもある。「家族サービスはよくやっているよ。」と言うように、最近も家族で越後湯沢に行ってきたそうだ。ちなみに趣味はゴルフとの事。

2月3日の誕生日で49歳になった。当日は「家族で外に食べに行ったよ。もう特別な事をする歳でもないし。」

ところで占いや迷信などは信じないし、験担ぎもしないタイプだとか。非常に現実的で、前向きな気持ちを持った人である。

今年の秋にはJBCも地元で開催される。「(厩舎の馬を)出走させたいね。」と川崎ファンにとってうれしい言葉が聞けた。

* staff room *

町田ジョッキーが新人賞の座を総なめにしました。日本プロスポーツ大賞では朝青龍関らと同じ舞台での授賞式となったわけですが、本人は意外と余裕。さすが大物です。NARグランプリでの記者会見も堂々としたもの。「緊張はあまりしません。自分はまだまだこれから。今の成績に満足しているわけではありません」と目指すところは高見なのだ。頼もしい限りです。

あ

エスプリフェザント、ついに復活です。復活初戦は今年1月川崎開催、+40kgとかなり重めの出走ながらも粘って3着。そして2/9浦和最終レースであの鎌倉記念以来の勝利を挙げました。自己条件とはいえ1年以上のブランクを乗り越えてのあの勝ちっぷり。フェザント自身はもちろんここまでの長い道のりをあきらめず支え続けた武井先生はじめとする関係者の皆さんの努力の賜物です。目指すは3歳時に叶わなかったGIの舞台。フェザントのこれからの快進撃に期待です!

楓

先日初めて装飾しているところをじっくり見ました。競走馬にとって脚は命と同じくらい大切な存在です。たった少しのミスも許されません。そんな重要な任務をテキパキとこなす姿はまさに神業といったところで。普段は縁の下の力持ちですが、その存在の偉大さを改めて感じさせられました。

とら

今開催の重賞は牝馬限定のエンプレス杯。個人的な話ですが、牝馬だけのレースは大好きです(^.^)オンナノコってやっぱり華がありますよね。何が一番って、タテガミ編んでもらったり、かわいらしいメンコしたり、キッチンバンテージが巻かれてたり、思わずどの馬が一番オシャレかって考えちゃいます。きっと馬同士でも「私のほうがカワイイでしょ!」なんて会話をしているような気がします。

梅

